

愛

十字架とわたし

～2005年受難節～



十字架という事実

- 約2000年前に、パレスチナ地域にイエスという人物がいたことと、彼が十字架刑に処せられて殺されたことは**歴史的事実**である
- イエスの十字架という事実は、わたしにとってどんな意味を持っているのか



イエスは十字架によって

- 何かを成し遂げようとした
- 何かを伝えようとした



十字架とわたし

- イエスの十字架はわたしにどのような意味を持っているのか
- イエスの十字架からわたしは何を学んだのか
- イエスの十字架によってわたしの生き方はどう変わったのか



神は私を どう思っておられるのか

- 関心がない
- 創造したことを後悔している
- 怒っている
- 大切に思っている
- 愛している



愛の大きさの尺度

- 愛される側のあり方
 - 愛するに値するか？
 - 愛しやすいか？
- 愛する側の払った犠牲の大きさ
 - 割合(1/1000か1/1か)
 - 大切さ
 - 補えるか？



神が示された愛

- 最も愛するに値しない相手に
 - 「しかし、わたしたちがまだ罪人であったとき、キリストがわたしたちのために死んでくださったことにより、神はわたしたちに対する愛を示されました。」 <ローマ5:8>



神が示された愛

- かけがえのない大切なものを与えられた
「神は、**その独り子をお与えになったほどに、**
世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅び
ないで、永遠の命を得るためである。」

<ヨハネ 3:16>



十字架という事実

- 神は私を愛しておられる
- 神は無条件に愛しておられる
- 神は無限に愛しておられる



十字架という事実

- 神は私を愛しておられる
- 神は無条件に愛しておられる
- 神は無限に愛しておられる

十字架なしに 知
ることができた
だろうか？

